



鉾屋町
町内会だより

不定期発行
 発行者
 鉾屋町町内会
 編集 / 文責 / 撮影
 桂 汎用工房
 脇田 桂一郎
 印刷
 小松総合印刷
 株式会社



盛岡町家春祭り
4月8、9日
2023



4月8日から、盛岡まち並み塾・もりおか町家物語館・株式会社あさ開が主催する「盛岡町家春祭り」が、鉦屋町を中心に幕を開け、令和元年から4年ぶりとなる雛飾りの展示「旧暦の雛祭り」を始めとして、様々な催し物が開催されました。

初日8日は曇り空にもかかわらず、通りを歩いている人が多く見られました。
個人の住宅などでは、旧暦の



雛祭り展示日が8・9日のみだったため、それを見るために来る方もいらつしやいます。



三岳亭で行われた、藤間流・若柳流による日本舞踊。このときは満席となりました。



華和美さんのてづくり市。



飛び入りで、山車研究会の方々が展示している場所、一軒一軒に音頭上げを行いました。



昨年、盛岡市都市景観賞を受

賞した、駒木葬祭さんの社屋では、貝雛を始めとして様々な雛祭りの飾りが展示されています。



この盛岡町家春祭りは、4月30日まで、土日を中心にイベント・展示が行われる予定です。

め組 山車の製作開始

盛岡秋まつりの開催がほぼ決まり、今年も鉦屋町の「め組」も山車を奉納することになりました。

また今年も教育委員会歴史文化課の調査も入ります。(写真左の方) 秋まつりは「盛岡八幡

宮祭りの山車行事」として盛岡市指定文化財になっており、平成25年から毎年1団体の調査を行っているそうです。



通常の山車では中心に柱が建っているのですが、め組の山車では柱がなく、中央に「中岩なかいわ」と呼ばれる黒い箱のようなものだけが建ちます。



この箱を境にして前方に「風流」後方に「見返し」の人形が設置されます。

「中岩」の特徴は、柱と違って真ん中に固定ではなく、移動できることです。そのため演目の種類によって舞台の広さを変えたり、前後のバランスを整えたりすることが出来ます。



4月10日の作業の一つが、この中岩の位置決めでした。人形の位置とポーズを頭に入れながら、配置を確認します。

いろいろ意見が出る中、何度も前後だけでなく、左右の向きも微妙に変えてあります。

人形が載る台の部分は「盆ぼん」と呼ばれています。盆に位置の決定した中岩を固定します。





保管してあった飾りの花など。古くなって色あせているものもあるので、多くは作り直しになるそうです。
 今後も作業の状況を追っついてきたいと思っています。

3月12日資源回収



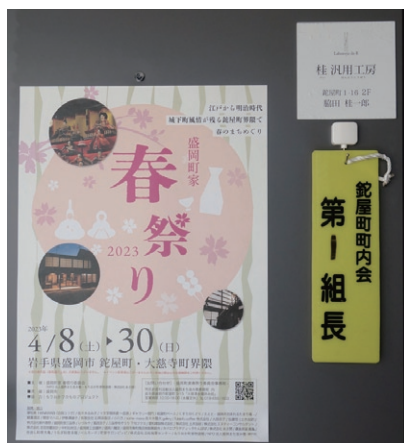
3月半ばにしては温かくなつたように思われた日曜日、資源回収が行われました。



孤軍奮闘の川市軽トラ。

編集後記

春祭り、春の消防演習、山車の製作など、いろいろなことが始まり、「再始動」といった動きが感じられます。



今年の4月より、鉈屋町町内会第1組の組長を拝命することになりました。

この「組」という呼び方は、今は鉈屋町ぐらいでしか使われていないようです。私も初めて「組長会議」と聞いた時、「盃でも交わすんだらうか」と、一瞬思ってしまった。

来年度からはこの名称が「班」に改められ、「班長」ということになる予定です。今後も町内会の活動にご協力をお願いいたします。(桂)

この日は回収車のルートが変則的だったため、写真を撮りそこねたところも多かったです。
 ご協力いただいた皆様、ありがとうございました

